（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

(注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- 様式は、令和２年度開設の４年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和７年度までの６年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が７年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
農学部 食生命科学科 学士（農学）	農学関係	4 年	70 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	280 人	－	

(注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
- 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１）又は（その２の２））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「－」を選択。）

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
Ａ　入学定員	人 － （　－　） [　－　]	人 － （　－　） [　－　]	人 － （　－　） [　－　]	人 － （　－　） [　－　]	人 70 （　－　） [　－　]	人 70 （　－　） [　－　]	人 70 （　－　） [　－　]	人 70 （　－　） [　－　]	人 70 （　－　） [　－　]	人 70 （　－　） [　－　]	人 70 （　－　） [　－　]	人 70 （　－　） [　－　]	－	0.72倍	－	
志願者数	－ （　－　） [　－　]	－ （　－　） [　－　]	－ （　－　） [　－　]	－ （　－　） [　－　]	327 （　－　） [　6　]	0 （　－　） [　0　]	327 （　－　） [　17　]	－ （　－　） [　－　]	241 （　0　） [　13　]	－ （　0　） [　－　]	284 （　0　） [　23　]	（　） [　]	春季入学以外の入学時期と入学定員内訳			
受験者数	－ （　－　） [　－　]	－ （　－　） [　－　]	－ （　－　） [　－　]	－ （　－　） [　－　]	299 （　－　） [　5　]	0 （　－　） [　0　]	310 （　－　） [　16　]	－ （　－　） [　－　]	237 （　0　） [　13　]	－ （　0　） [　－　]	263 （　0　） [　21　]	（　） [　]				
合格者数	－ （　－　） [　－　]	－ （　－　） [　－　]	－ （　－　） [　－　]	－ （　－　） [　－　]	238 （　－　） [　5　]	0 （　－　） [　0　]	262 （　－　） [　16　]	－ （　－　） [　－　]	208 （　0　） [　13　]	－ （　0　） [　－　]	227 （　0　） [　21　]	（　） [　]				
Ｂ　入学者数	－ （　－　） [　－　]	－ （　－　） [　－　]	－ （　－　） [　－　]	－ （　－　） [　－　]	47 （　－　） [　4　]	0 （　－　） [　0　]	55 （　－　） [　6　]	0 （　－　） [　－　]	50 （　0　） [　11　]	－ （　0　） [　－　]	59 （　0　） [　16　]	（　） [　]				
入学定員超過率 Ｂ／Ａ	－		－		0.67		0.78		0.71		0.84					

(注)・ 報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「－」を記入してください。
- （　）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
- 転入学生は記入しないでください。
- [　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
- 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
- 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
- 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「－」を選択。）
- 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和８年度開設用）Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第１条第２項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第２項及び第４項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
- 「（５）－②　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「４　既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学　年	令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	47 [4] (－)	0 [0] (－)	55 [6] (－)	0 [－] (－)	50 [11] ( )	0 [－] (－)	59 [16] (－)	[ ] ( )	令和7年度4年次 春季入学43名のうち2名は令和6年10月1日再入学。
２年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)			46 [4] (－)	0 [0] (－)	55 [6] (－)	0 [－] (－)	49 [10] (－)	[ ] ( )	
３年次									42 [4] (－)	0 [－] (－)	53 [6] (－)	[ ] ( )	
４年次											43 [4] (－)	[ ] ( )	
計	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	47 [4] (－)		101 [10] (－)		147 [21] (－)		204 [36] (－)		

(注)・ 報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

・ [　]内には、留学生の状況について、**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。

・（ ）内には、留年者の状況について、**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。

・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。

・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。

・「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 ＼ 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 （留学生の理由は[ ]書き）
			入学した年度	退学者数	うち留学生数	
令和2年度	－ 人	－ 人	令和2年度	－ 人	－ 人	
令和3年度	－ 人	－ 人	令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
令和4年度	47 人	1 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	1 人	0 人	その他
令和5年度	101 人	2 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	2 人	0 人	除籍
			令和5年度	0 人	0 人	
令和6年度	147 人	2 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	2 人	0 人	進路変更、病気・怪我
			令和5年度	0 人	0 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
令和7年度	204 人	4 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学
			令和5年度	2 人	0 人	進路変更、病気・怪我
			令和6年度	1 人	1 人	[他の教育機関への入学・転学]
			令和7年度	0 人	0 人	
合　計		9 人		9 人	1 人	

(注)・ 数字は、報告年度の５月１日現在の数字を記入してください。　（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・修学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

令和2年度の退学者数(a) / 令和2年度の在学者数(a+b) ＝ － / #VALUE! ＝ － %

【令和3年度】

令和3年度の退学者数(a) / 令和3年度の在学者数(a+b) ＝ － / #VALUE! ＝ － %

【令和4年度】

令和4年度の退学者数(a) / 令和4年度の在学者数(a+b) ＝ 1 / 48 ＝ 2.08 %

【令和5年度】

令和5年度の退学者数(a) / 令和5年度の在学者数(a+b) ＝ 2 / 103 ＝ 1.94 %

【令和6年度】

令和6年度の退学者数(a) / 令和6年度の在学者数(a+b) ＝ 2 / 149 ＝ 1.34 %

【令和7年度】

令和7年度の退学者数(a) / 令和7年度の在学者数(a+b) ＝ 4 / 208 ＝ 1.92 %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

２　授業科目の概要

＜農学部　食生命科学科＞

（１）－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
Ⅰ現代文明論		現代文明論	2前	2								1
Ⅱ現代教養科目	基礎教養科目	入門ゼミナールA	1前	2			6		2			
		入門ゼミナールB	1後	2			6		2			
	発展教養科目	シティズンシップ	1前	2			1					
		地域・国際理解	1後	2			1					
		現代教養講義	2後	2								1
	健康スポーツ科目	健康・フィットネス理論実習	1前・後	1								1
		生涯スポーツ理論実習	1前・後	1								1
Ⅲ英語科目	英語コミュニケーション科目	英語リスニング＆スピーキング	1前・後	2								1
		英語リーディング＆ライティング	1前・後	2								1
Ⅳ主専攻科目	学部共通科目	農学概論A	1前・後	2			1					1
		農学概論B	1前・後	2			1					1
		情報リテラシー	1前		2							1
		生物学実験	1後	1								1
		化学実験	1後	1			1					1

【令和７年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	基幹教員等の配置 教授	基幹教員等の配置 准教授	基幹教員等の配置 講師	基幹教員等の配置 助教	基幹教員等の配置 助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）
Ⅰ現代文明論		現代文明論	2前・後	2								1
Ⅱ現代教養科目	基礎教養科目	入門ゼミナールA	1前	2			6	1	2			1
		入門ゼミナールB	1後	2			6	1	2			
	発展教養科目	シティズンシップ（現代社会と市民）	1前・後	1			2	0	0			4
		シティズンシップ（社会参画の意義）	1前・後	1			2	0	0			4
		地域理解	1前・後	1			2	0	0			4
		国際理解	1前・後	1			2	0	0			4
		現代教養講義	2前・後	2			0	1	0			0
	健康スポーツ科目	健康・フィットネス理論実習	1前・後	1								3
		生涯スポーツ理論実習	1前・後	1								3
Ⅲ英語科目	英語コミュニケーション科目	英語リスニング＆スピーキング	1前・後	2								2
		英語リーディング＆ライティング	1前・後	2								1
Ⅳ主専攻科目	学部共通科目	農学概論A	1前・休	2			4	0	1			9
		農学概論B	1休・後	2			2	1	1			10
		情報リテラシー	1前		2							1
		生物学実験	1前・後	1								2
		化学実験	1前・後	1			1					1

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
		情報処理入門	1後		2							1
		自然災害と暮らし	1後		2							1
		人工知能概論	2前		2							1
		農業経営経済学	3前		2							1
		総合農学実習	2前		1		1					
	自然科学関連科目	生物学	1前	2								1
		化学	1前	2			1					
		物理学	2前		2							1
		地学	2後		2							1
		物理化学	2後		2		1					
	食生命科学基礎科目	農学基礎実習	1休		1		2		1			
		食品加工基礎実習	2前		1		2					
		食生命科学基礎実験1	2前	2			2		2			
		食生命科学基礎実験2	2後	2			3					
	食品科学関連科目	食の科学	1後		2		1					
		有機化学	1後	2			1					
		食品衛生学	1後		2							1
		食品バイオテクノロジー	2前		2				1			
		分析化学	2前	2			1					
		発酵化学	2前	2					1			
		食品学	2前		2		1					
		食品加工学	2前		2							1
		食品機能科学	2後		2				1			
		栄養化学	2後		2							1
		食と病態生化学	2後		2		1					

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			基幹教員等の配置					基幹教員以外の教員（助手を除く）
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
		情報処理入門	1後		2							1
		自然災害と暮らし	1後		2		2	0	0			8
		人工知能概論	2前		2							1
		農業経営経済学	3前		2							1
		総合農学実習	2休		1		0	1	0			4
	自然科学関連科目	生物学	1前	2								1
		化学	1前	2			1					
		物理学	2前		2							2
		地学	2後		2		1					1
		物理化学	2後		2		1					
	食生命科学基礎科目	農学基礎実習	1休		1		2	1	1			
		食品加工基礎実習	2前		1		1	1				
		食生命科学基礎実験1	2前	2			4	0	1			
		食生命科学基礎実験2	2後	2			3	1	1			
	食品科学関連科目	食の科学	1後		2		1					
		有機化学	1後	2			1					
		食品衛生学	1後		2			1				0
		食品バイオテクノロジー	2前		2			1	1			
		分析化学	2前	2			1					
		発酵化学	2前	2					1			
		食品学	2前		2		1					
		食品加工学	2前		2			1				0
		食品機能科学	2後		2			1	1			
		栄養化学	2後		2				1			0
		食と病態生化学	2後		2		1					

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	生命科学関連科目	生体物質の化学	1前	2								1
		微生物の生態と分類	1後	2					1			
		生化学	1後	2			1					
		遺伝子工学	1後	2			1					
		天然物化学	2前		2		1					
		代謝化学	2前	2			1					
		分子遺伝学	2前		2		1					
	食生命科学総合科目	食品加工実習	2後		1		1		1			
		食生命科学実験１	3前	1			5		2			
		食生命科学実験２	3後	2			5		2			
		工場見学	3休		1		5		2			
		食生命科学英語１	4前		2		5		2			
		食生命科学英語２	4後		2		5		2			
		卒業研究演習１	4前		2		5		2			
		卒業研究演習２	4後		2		5		2			
		卒業研究１	4前	2			5		2			
		卒業研究２	4後	2			5		2			
	農学分野関連科目	果物の科学	2後		2							1
		動物生理学	2後		2							1
		作物生産生理学	2後		2							1
		動物生殖生理学	2後		2							1
		植物バイオテクノロジー	3前		2							1
		動物衛生学	3前		2							1
		実験動物学	3前		2							1
	教職科目	物理学実験	2前		1							1
		地学実験	2後		1							1
		理科教材論	3前		2							1
		理科教育実践論	3前		2							1

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			基幹教員等の配置					基幹教員以外の教員（助手を除く）
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	生命科学関連科目	生体物質の化学	1前	2					1			0
		微生物の生態と分類	1後	2					1			
		生化学	1後	2			1					
		遺伝子工学	1後	2			1					
		天然物化学	2前		2		1					
		代謝化学	2前	2			1					
		分子遺伝学	2前		2		1					
	食生命科学総合科目	食品加工実習	2後		1		1	1	1			
		食生命科学実験１	3前	1			5	1	2			
		食生命科学実験２	3後	2			5	1	2			
		工場見学	3休		1		5	1	2			
		食生命科学英語１	4前		2		6	1	2			
		食生命科学英語２	4後		2		6	1	2			
		卒業研究演習１	4前		2		6	1	2			
		卒業研究演習２	4後		2		6	1	2			
		卒業研究１	4前	2			6	1	2			
		卒業研究２	4後	2			6	1	2			
	農学分野関連科目	果物の科学	2後		2							1
		動物生理学	2後		2							1
		作物生産生理学	2後		2							1
		動物生殖生理学	2後		2							1
		植物バイオテクノロジー	3後		2							1
		動物衛生学	3前		2							1
		実験動物学	3前		2							4
	教職科目	物理学実験	2前		1							2
		地学実験	2後		1		1					1
		理科教材論	3前		1		1					0
		理科教育実践論	3後		2		1					0

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
		理科教育法1	3前		2							1
		理科教育法2	3後		2							1

卒業要件及び履修方法

以下の合計で124単位以上修得する。
（履修科目の登録の上限：20単位（１学期））

□科目区分Ⅰ現代文明論　＜必修科目＞　2単位修得
□科目区分Ⅱ現代教養科目
　基礎教養科目　＜必修科目＞　4単位修得
　発展教養科目　＜必修科目＞　6単位修得
　健康スポーツ科目＜必修科目＞　2単位修得
□科目区分Ⅲ英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ科目　＜必修科目＞　4単位修得

□科目区分Ⅳ主専攻科目　76単位修得
＜必修科目＞
■学部共通科目　に設定された科目を6単位を修得
■自然科学関連科目　に設定された科目を4単位を修得
■食生命科学基礎科目　に設定された科目を4単位を修得
■食品科学関連科目　に設定された科目を6単位を修得
■生命科学関連科目　に設定された科目を10単位を修得
■食生命科学総合科目　に設定された科目を7単位を修得
（計37単位）

＜選択科目＞
■学部共通科目　の区分から4単位以上を修得
■自然科学関連科目　■食生命科学基礎科目　■食品科学関連科目
■生命科学関連科目　■食生命科学総合科目　■農学分野関連科目
■教職科目
の7つの学科目より、合わせて35単位以上を修得　（計39単位）

□科目区分Ⅳの余剰、他学部・他学科科目を修得した単位　30単位修得

合計124単位修得

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	基幹教員等の配置 教授	基幹教員等の配置 准教授	基幹教員等の配置 講師	基幹教員等の配置 助教	基幹教員等の配置 助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）
		理科教育法1	3前		2		1					0
		理科教育法2	3後		2							1

卒業要件及び履修方法

以下の合計で124単位以上修得する。
（履修科目の登録の上限：20単位（１学期））

□科目区分Ⅰ現代文明論　＜必修科目＞　2単位修得
□科目区分Ⅱ現代教養科目
　基礎教養科目　＜必修科目＞　4単位修得
　発展教養科目　＜必修科目＞　6単位修得
　健康スポーツ科目＜必修科目＞　2単位修得
□科目区分Ⅲ英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ科目　＜必修科目＞　4単位修得

□科目区分Ⅳ主専攻科目　76単位修得
＜必修科目＞
■学部共通科目　に設定された科目を6単位を修得
■自然科学関連科目　に設定された科目を4単位を修得
■食生命科学基礎科目　に設定された科目を4単位を修得
■食品科学関連科目　に設定された科目を6単位を修得
■生命科学関連科目　に設定された科目を10単位を修得
■食生命科学総合科目　に設定された科目を7単位を修得
（計37単位）

＜選択科目＞
■学部共通科目　の区分から4単位以上を修得
■自然科学関連科目　■食生命科学基礎科目　■食品科学関連科目
■生命科学関連科目　■食生命科学総合科目　■農学分野関連科目
■教職科目
の7つの学科目より、合わせて35単位以上を修得　（計39単位）

□科目区分Ⅳの余剰、他学部・他学科科目を修得した単位　30単位修得

合計124単位修得

【令和６年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
Ⅰ現代文明論		現代文明論	2前・後	2								1
Ⅱ現代教養科目	基礎教養科目	入門ゼミナールA	1前	2			6	2	2			1
		入門ゼミナールB	1後	2			6	2	2			
	発展教養科目	シティズンシップ（現代社会と市民）	1前・後	1			1	0	1			4
		シティズンシップ（社会参画の意義）	1前・後	1			1	0	1			4
		地域理解	1前・後	1			1	1	0			4
		国際理解	1前・後	1			1	1	0			4
		現代教養講義	2前・後	2			1		0			0

【令和５年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
Ⅰ現代文明論		現代文明論	2前・後	2								1
Ⅱ現代教養科目	基礎教養科目	入門ゼミナールA	1前	2			6	2	2			1
		入門ゼミナールB	1後	2			6	2	2			
	発展教養科目	シティズンシップ（現代社会と市民）	1前・後	1			0	1	1			5
		シティズンシップ（社会参画の意義）	1前・後	1			0	1	1			5
		地域理解	1前・後	1			0	1	1			5
		国際理解	1前・後	1			0	1	1			5
		現代教養講義	2前・後	2					1			0

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	健康スポーツ科目	健康・フィットネス理論実習	1前・後	1								3
		生涯スポーツ理論実習	1前・後	1								3
Ⅲ英語科目	英語コミュニケーション科目	英語リスニング＆スピーキング	1前・後	2								2
		英語リーディング＆ライティング	1前・後	2								1
Ⅳ主専攻科目	学部共通科目	農学概論A	1前・休	2			4	1	1			9
		農学概論B	1休・後	2			3	1	1			10
		情報リテラシー	1前		2							1
		生物学実験	1前・後	1								2
		化学実験	1前・後	1			1					1
		情報処理入門	1後		2							1
		自然災害と暮らし	1後		2		1	1	0			8
		人工知能概論	2前		2							1
		農業経営経済学	3前		2							1
		総合農学実習	2休		1		0	1	0			2
	自然科学関連科目	生物学	1前	2								1
		化学	1前	2			1					
		物理学	2前		2							1
		地学	2後		2							1
		物理化学	2後		2		1					
	食生命科学基礎科目	農学基礎実習	1休		1		2	2	1			
		食品加工基礎実習	2前		1		2	1				
		食生命科学基礎実験1	2前	2			3	1	1			
		食生命科学基礎実験2	2後	2			3	1	1			

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			基幹教員等の配置					基幹教員以外の教員（助手を除く）
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	健康スポーツ科目	健康・フィットネス理論実習	1前・後	1								3
		生涯スポーツ理論実習	1前・後	1								3
Ⅲ英語科目	英語コミュニケーション科目	英語リスニング＆スピーキング	1前・後	2								2
		英語リーディング＆ライティング	1前・後	2								1
Ⅳ主専攻科目	学部共通科目	農学概論A	1前・後	2			4	1	1			9
		農学概論B	1前・後	2			3	1	1			10
		情報リテラシー	1前		2							1
		生物学実験	1前・後	1								2
		化学実験	1前・後	1			1					1
		情報処理入門	1後		2							1
		自然災害と暮らし	1後		2		2		0			8
		人工知能概論	2前		2							1
		農業経営経済学	3前		2							1
		総合農学実習	2前		1		0		1			3
	自然科学関連科目	生物学	1前	2								1
		化学	1前	2			1					
		物理学	2前		2							1
		地学	2後		2							1
		物理化学	2後		2		1					
	食生命科学基礎科目	農学基礎実習	1休		1		2	2	1			
		食品加工基礎実習	2前		1		2	1				
		食生命科学基礎実験1	2前	2			3	1	1			
		食生命科学基礎実験2	2後	2			3	1	1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
食品科学関連科目	食の科学	1後		2		1					
	有機化学	1後	2			1					
	食品衛生学	1後		2			1				0
	食品バイオテクノロジー	2前		2			1	0			
	分析化学	2前	2			1					
	発酵化学	2前	2					1			
	食品学	2前		2		1					
	食品加工学	2前		2			1				0
	食品機能科学	2後		2			1	0			
	栄養化学	2後		2				1			0
	食と病態生化学	2後		2		1					
生命科学関連科目	生体物質の化学	1前	2					1			0
	微生物の生態と分類	1後	2					1			
	生化学	1後	2			1					
	遺伝子工学	1後	2			1					
	天然物化学	2前		2		1					
	代謝化学	2前	2			1					
	分子遺伝学	2前		2		1					
食生命科学総合科目	食品加工実習	2後		1		1	1	1			
	食生命科学実験１	3前	1			6	2	2			
	食生命科学実験２	3後	2			6	1	2			
	工場見学	3休		1		6	1	2			
	食生命科学英語１	4前		2		5	2	2			
	食生命科学英語２	4後		2		5	2	2			
	卒業研究演習１	4前		2		5	2	2			
	卒業研究演習２	4後		2		5	2	2			
	卒業研究１	4前	2			5	2	2			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			基幹教員等の配置					基幹教員以外の教員（助手を除く）
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
食品科学関連科目	食の科学	1後		2		1					
	有機化学	1後	2			1					
	食品衛生学	1後		2			1				0
	食品バイオテクノロジー	2前		2			1	0			
	分析化学	2前	2			1					
	発酵化学	2前	2					1			
	食品学	2前		2		1					
	食品加工学	2前		2			1				0
	食品機能科学	2後		2			1	0			
	栄養化学	2後		2				1			0
	食と病態生化学	2後		2		1					
生命科学関連科目	生体物質の化学	1前	2					1			0
	微生物の生態と分類	1後	2					1			
	生化学	1後	2			1					
	遺伝子工学	1後	2			1					
	天然物化学	2前		2		1					
	代謝化学	2前	2			1					
	分子遺伝学	2前		2		1					
食生命科学総合科目	食品加工実習	2後		1		1	1	1			
	食生命科学実験１	3前	1			5	2	2			
	食生命科学実験２	3後	2			5	2	2			
	工場見学	3休		1		5	2	2			
	食生命科学英語１	4前		2		5	2	2			
	食生命科学英語２	4後		2		5	2	2			
	卒業研究演習１	4前		2		5	2	2			
	卒業研究演習２	4後		2		5	2	2			
	卒業研究１	4前	2			5	2	2			

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
		卒業研究2	4後	2			5	2	2			
	農学分野関連科目	果物の科学	2後		2							1
		動物生理学	2後		2							1
		作物生産生理学	2後		2							1
		動物生殖生理学	2後		2							1
		植物バイオテクノロジー	3後		2							1
		動物衛生学	3前		2							1
		実験動物学	3前		2							4
	教職科目	物理学実験	2前		1							2
		地学実験	2後		1							1
		理科教材論	3前		2		1					0
		理科教育実践論	3後		2		1					0
		理科教育法1	3前		2		1					0
		理科教育法2	3後		2							1

卒業要件及び履修方法

以下の合計で124単位以上修得する。
（履修科目の登録の上限：20単位（１学期））

□科目区分Ⅰ現代文明論　＜必修科目＞　2単位修得
□科目区分Ⅱ現代教養科目
　基礎教養科目　＜必修科目＞　4単位修得
　発展教養科目　＜必修科目＞　6単位修得
　健康スポーツ科目＜必修科目＞　2単位修得
□科目区分Ⅲ英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ科目　＜必修科目＞　4単位修得

□科目区分Ⅳ主専攻科目　76単位修得
　＜必修科目＞
　■学部共通科目　に設定された科目を6単位を修得
　■自然科学関連科目　に設定された科目を4単位を修得
　■食生命科学基礎科目　に設定された科目を4単位を修得
　■食品科学関連科目　に設定された科目を6単位を修得
　■生命科学関連科目　に設定された科目を10単位を修得
　■食生命科学総合科目　に設定された科目を7単位を修得
　（計37単位）

　＜選択科目＞
　■学部共通科目　の区分から4単位以上を修得
　■自然科学関連科目　■食生命科学基礎科目　■食品科学関連科目
　■生命科学関連科目　■食生命科学総合科目　■農学分野関連科目
　■教職科目
　の7つの学科目より、合わせて35単位以上を修得　（計39単位）

□科目区分Ⅳの余剰、他学部・他学科科目を修得した単位　30単位修得

合計124単位修得

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	基幹教員等の配置 教授	基幹教員等の配置 准教授	基幹教員等の配置 講師	基幹教員等の配置 助教	基幹教員等の配置 助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）
		卒業研究2	4後	2			5	2	2			
	農学分野関連科目	果物の科学	2後		2							1
		動物生理学	2後		2							1
		作物生産生理学	2後		2							1
		動物生殖生理学	2後		2							1
		植物バイオテクノロジー	3後		2							1
		動物衛生学	3前		2							1
		実験動物学	3前		2							4
	教職科目	物理学実験	2前		1							2
		地学実験	2後		1							1
		理科教材論	3前		2		1					0
		理科教育実践論	3後		2		1					0
		理科教育法1	3前		2		1					0
		理科教育法2	3後		2							1

卒業要件及び履修方法

以下の合計で124単位以上修得する。
（履修科目の登録の上限：20単位（１学期））

□科目区分Ⅰ現代文明論　＜必修科目＞　2単位修得
□科目区分Ⅱ現代教養科目
　基礎教養科目　＜必修科目＞　4単位修得
　発展教養科目　＜必修科目＞　6単位修得
　健康スポーツ科目＜必修科目＞　2単位修得
□科目区分Ⅲ英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ科目　＜必修科目＞　4単位修得

□科目区分Ⅳ主専攻科目　76単位修得
　＜必修科目＞
　■学部共通科目　に設定された科目を6単位を修得
　■自然科学関連科目　に設定された科目を4単位を修得
　■食生命科学基礎科目　に設定された科目を4単位を修得
　■食品科学関連科目　に設定された科目を6単位を修得
　■生命科学関連科目　に設定された科目を10単位を修得
　■食生命科学総合科目　に設定された科目を7単位を修得
　（計37単位）

　＜選択科目＞
　■学部共通科目　の区分から4単位以上を修得
　■自然科学関連科目　■食生命科学基礎科目　■食品科学関連科目
　■生命科学関連科目　■食生命科学総合科目　■農学分野関連科目
　■教職科目
　の7つの学科目より、合わせて35単位以上を修得　（計39単位）

□科目区分Ⅳの余剰、他学部・他学科科目を修得した単位　30単位修得

合計124単位修得

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			基幹教員等の配置					基幹教員以外の教員（助手を除く）
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	

【令和４年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
Ⅰ現代文明論		現代文明論	2前・後	2								1
Ⅱ現代教養科目	基礎教養科目	入門ゼミナールA	1前	2			6	2	2			1
		入門ゼミナールB	1後	2			6	2	2			
	発展教養科目	シティズンシップ（現代社会と市民）	1前・後	1			0	1	1			6
		シティズンシップ（社会参画の意義）	1前・後	1			0	1	1			6
		地域理解	1前・後	1			0	1	1			6
		国際理解	1前・後	1			0	1	1			6
		現代教養講義	2前・後	2								1
	健康スポーツ科目	健康・フィットネス理論実習	1前・後	1								3
		生涯スポーツ理論実習	1前・後	1								3
Ⅲ英語科目	英語コミュニケーション科目	英語リスニング＆スピーキング	1前・後	2								1
		英語リーディング＆ライティング	1前・後	2								1
Ⅳ主専攻科目	学部共通科目	農学概論A	1前・後	2			3	1	1			9
		農学概論B	1前・後	2			2	1	1			11
		情報リテラシー	1前		2							1
		生物学実験	1前・後	1								2
		化学実験	1前・後	1			1					1
		情報処理入門	1後		2							1
		自然災害と暮らし	1後		2			2				8

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
		人工知能概論	2前		2							1
		農業経営経済学	3前		2							1
		総合農学実習	2前		1		0					2
	自然科学関連科目	生物学	1前	2								1
		化学	1前	2			1					
		物理学	2前		2							1
		地学	2後		2							1
		物理化学	2後		2		1					
	食生命科学基礎科目	農学基礎実習	1休		1		2	2	1			
		食品加工基礎実習	2前		1		2	1				
		食生命科学基礎実験1	2前	2			2	1	1			
		食生命科学基礎実験2	2後	2			3		1			
	食品科学関連科目	食の科学	1後		2		1					
		有機化学	1後	2			1					
		食品衛生学	1後		2			1				0
		食品バイオテクノロジー	2前		2			1	0			
		分析化学	2前	2			1					
		発酵化学	2前	2					1			
		食品学	2前		2		3					
		食品加工学	2前		2			1				0
		食品機能科学	2後		2			1	0			
		栄養化学	2後		2				1			0
		食と病態生化学	2後		2		1					
	生命科学関連科目	生体物質の化学	1前	2					1			0
		微生物の生態と分類	1後	2					1			
		生化学	1後	2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			基幹教員等の配置					基幹教員以外の教員（助手を除く）
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
		遺伝子工学	1後	2			1					
		天然物化学	2前		2		1					
		代謝化学	2前	2			1					
		分子遺伝学	2前		2		1					
	食生命科学総合科目	食品加工実習	2後		1		1	1	1			
		食生命科学実験1	3前	1			5	2	2			
		食生命科学実験2	3後	2			5	2	2			
		工場見学	3休		1		5	2	2			
		食生命科学英語1	4前		2		5	2	2			
		食生命科学英語2	4後		2		5	2	2			
		卒業研究演習1	4前		2		5	2	2			
		卒業研究演習2	4後		2		5	2	2			
		卒業研究1	4前	2			5	2	2			
		卒業研究2	4後	2			5	2	2			
	農学分野関連科目	果物の科学	2後		2							1
		動物生理学	2後		2							1
		作物生産生理学	2後		2							1
		動物生殖生理学	2後		2							1
		植物バイオテクノロジー	3後		2							1
		動物衛生学	3前		2							1
		実験動物学	3前		2							4
	教職科目	物理学実験	2前		1							2
		地学実験	2後		1							1
		理科教材論	3前		2		1					1
		理科教育実践論	3後		2		1					1
		理科教育法1	3前		2		1					1
		理科教育法2	3後		2							2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			基幹教員等の配置					基幹教員以外の教員（助手を除く）
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担

卒業要件及び履修方法

以下の合計で124単位以上修得する。
（履修科目の登録の上限：20単位（１学期））

□科目区分Ⅰ現代文明論　＜必修科目＞　2単位修得
□科目区分Ⅱ現代教養科目
　基礎教養科目　＜必修科目＞　4単位修得
　発展教養科目　＜必修科目＞　6単位修得
　健康スポーツ科目＜必修科目＞　2単位修得
□科目区分Ⅲ英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ科目　＜必修科目＞　4単位修得

□科目区分Ⅳ主専攻科目　76単位修得
　＜必修科目＞
　■学部共通科目　に設定された科目を6単位を修得
　■自然科学関連科目　に設定された科目を4単位を修得
　■食生命科学基礎科目　に設定された科目を4単位を修得
　■食品科学関連科目　に設定された科目を6単位を修得
　■生命科学関連科目　に設定された科目を10単位を修得
　■食生命科学総合科目　に設定された科目を7単位を修得
　（計37単位）

　＜選択科目＞
　■学部共通科目　の区分から4単位以上を修得
　■自然科学関連科目　■食生命科学基礎科目　■食品科学関連科目
　■生命科学関連科目　■食生命科学総合科目　■農学分野関連科目
　■教職科目
　の7つの学科目より、合わせて35単位以上を修得　（計39単位）

□科目区分Ⅳの余剰、他学部・他学科科目を修得した単位　30単位修得

合計124単位修得

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	基幹教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）

（注）・ 報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・ 認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
　なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和４年10月１日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、
　改正後大学設置基準等（令和４年10月１日施行）の適用以前については、改正前様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、
　「専任教員以外の教員（助手を除く）」としてください。
・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て（基幹教員（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は
　「専任教員」）以外の教員（助手を除く）（改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼担教員）が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。
　その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
　なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等（令和４年10月１日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、
　「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員
　（助手を除く）」欄は「兼任・兼担」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員（大学院の研究科又は研究科の
　専攻の場合は「専任教員」）」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、
　「基幹教員以外の教員（助手を除く）（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員（助手を除く）」）」数は、
　認可時又は届出時の「兼任・兼担」数との比較において変更となっている箇所を**太字の赤字**としてください。
　（専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。）
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・ １ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・ 不要な年度（令和６年度開設であれば令和５年度以前）の表は適宜削除してください。
　（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、
　「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に（新）又は（旧）と追記してください。
（例：記載順）【認可時又は届出時】→【令和７年度】(新)→【令和６年度】(新)→【令和５年度】→【令和４年度】→【令和７年度】(旧)→【令和６年度】(旧)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			基幹教員等の配置					基幹教員以外の教員（助手を除く）
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	

（１）－②授業科目表に関する変更内容

【令和４年度】

【科目の分割】
全学的なカリキュラム変更により、「シティズンシップ」を「シティズンシップ（現代社会と市民）」及び「シティズンシップ（社会参画の意義）」に、「地域・国際理解」を「地域理解」及び「国際理解」に分割した。

【配当年次の変更】
科目の分割または教育効果を高めるため、科目間の連携と学生の履修順序を考慮して時間割を再調整したことにより、配当年次を次のとおり変更した。
「現代文明論」（２前⇒２前・後）、「現代教養講義」（２後⇒２前・後）、「生物学実験」（１後⇒１前・後）、「化学実験」（１後⇒１前・後）、「植物バイオテクノロジー」（３前⇒３後）、「理科教育実践論」（３前⇒３後）

【専任教員等の配置の変更】
①教育効果を高めるため受講学生数を見直し、クラス数を再編成したことに伴い、専任教員等の配置を次のとおり変更した。
「シティズンシップ（現代社会と市民）」（教授1⇒准教授１講師１兼担兼任６）、「シティズンシップ（社会参画の意義）」（教授1⇒准教授１講師１兼担兼任６）、「地域理解」（教授1⇒准教授１講師１兼担兼任６）、「国際理解」（教授1⇒准教授１講師１兼担兼任６）

②教育課程の充実を目指し、スポーツ種目・クラス数を再編成したことに伴い、専任教員等の配置を次のとおり変更した。
「健康・フィットネス理論実習」（兼担兼任1⇒3）、「生涯スポーツ理論実習」（兼担兼任1⇒3）

③専任教員が昇格したこと、教員を新規採用したこと、教育効果を高めるため、科目間の連携を考慮して担当教員を再調整したことに伴い、専任教員等の配置を次のとおり変更した。
「入門ゼミナールＡ」（教授6講師2⇒教授6准教授2講師2兼担兼任1）、「入門ゼミナールＢ」（教授6講師2⇒教授6准教授2講師2）、「農学基礎実習」（教授2講師1⇒教授2准教授2講師1）、「食品加工基礎実習」（教授2⇒教授2准教授1）、「食生命科学基礎実験１」（教授2講師2⇒教授2准教授1講師1）、「食生命科学基礎実験２」（教授3⇒教授3講師1）、「食品衛生学」（兼担兼任1⇒准教授1兼担兼任0）、「食品バイオテクノロジー」（講師1⇒准教授1講師0）、「食品加工学」（兼担兼任1⇒准教授1兼担兼任0）、「食品機能科学」（講師1⇒准教授1講師0）、「栄養化学」（兼担兼任1⇒講師1兼担兼任0）、「生体物質の化学」（兼担兼任1⇒講師1兼担兼任0）、「食品加工実習」（教授1講師1⇒教授1准教授1講師1）、「食生命科学実験１」（教授5講師2⇒教授5准教授2講師2）、「食生命科学実験２」（教授5講師2⇒教授5准教授2講師2）、「工場見学」（教授5講師2⇒教授5准教授2講師2）、「食生命科学英語１」（教授5講師2⇒教授5准教授2講師2）、「食生命科学英語２」（教授5講師2⇒教授5准教授2講師2）、「卒業研究演習１」（教授5講師2⇒教授5准教授2講師2）、「卒業研究演習２」（教授5講師2⇒教授5准教授2講師2）、「卒業研究１」（教授5講師2⇒教授5准教授2講師2）、「卒業研究２」（教授5講師2⇒教授5准教授2講師2）

④教育効果を高めるため、より専門性の高い教員を担当とすべく再調整したことに伴い、専任教員等の配置を次のとおり変更した。
「農学概論Ａ」（教授1兼担兼任1⇒教授3准教授1講師1兼担兼任9）、「農学概論Ｂ」（教授1兼担兼任1⇒教授2准教授1講師1兼担兼任11）、「生物学実験」（兼担兼任1⇒兼担兼任2）、「自然災害と暮らし」（兼担兼任1⇒講師2兼担兼任8）、「総合農学実習」（教授1⇒教授0兼担兼任2）、「食品学」（教授1⇒3）、「実験動物学」（兼担兼任1⇒兼担兼任4）、「物理学実験」（兼担兼任1⇒兼担兼任2）、「理科教材論」（兼担兼任1⇒教授1兼担兼任1）、「理科教育実践論」（兼担兼任1⇒教授1兼担兼任1）、「理科教育法１」（兼担兼任1⇒教授1兼担兼任1）、「理科教育法２」（兼担兼任1⇒兼担兼任2）

【令和５年度】

【専任教員等の配置の変更】
①教育効果を高めるため受講学生数を見直し、クラス数を再編成したことに伴い、専任教員等の配置を次のとおり変更した。
「シティズンシップ（現代社会と市民）」（准教授1講師1兼担兼任6⇒准教授1講師1兼担兼任5）、「シティズンシップ（社会参画の意義）」（准教授1講師1兼担兼任6⇒准教授1講師1兼担兼任5）、「地域理解」（准教授1講師1兼担兼任6⇒准教授1講師1兼担兼任5）、「国際理解」（准教授1講師1兼担兼任6⇒准教授1講師1兼担兼任5）

②英語力の向上を目指した入学時の学力調査方法の変更に伴ってクラス数を再編成したことにより、専任教員等の配置を次のとおり変更した。
「英語リスニング&スピーキング」（兼担兼任1⇒兼担兼任2）

③教育効果を高めるため、より専門性の高い教員を担当とすべく再調整したことに伴い、専任教員等の配置を次のとおり変更した。
「現代教養講義」（兼担兼任1⇒講師1）、「農学概論Ａ」（教授3准教授1講師1兼担兼任9⇒教授4准教授1講師1兼担兼任9）、「農学概論Ｂ」（教授2准教授1講師1兼担兼任11⇒教授3准教授1講師1兼担兼任10）、「自然災害と暮らし」（講師2兼担兼任8⇒教授2講師0兼担兼任8）、「総合農学実習」（兼担兼任2⇒講師1兼担兼任3）、「食生命科学基礎実験１」（教授2准教授1講師1⇒教授3准教授1講師1）、「食生命科学基礎実験２」（教授3講師1⇒教授3准教授1講師1）、「食品学」（教授3⇒教授1）、「理科教材論」（教授1兼担兼任1⇒教授1兼担兼任0）、「理科教育実践論」（教授1兼担兼任1⇒教授1兼担兼任0）、「理科教育法１」（教授1兼担兼任1⇒教授1兼担兼任0）、「理科教育法２」（兼担兼任2⇒兼担兼任1）

【令和６年度】

【配当年次の変更】
教育効果を高めるため、科目間の連携と学生の履修順序を考慮して時間割を再調整したことにより、配当年次を次のとおり変更した。
「農学概論Ａ」（１前・後⇒１前・休）、「農学概論Ｂ」（１前・後⇒１休・後）、「総合農学実習」（２前⇒２休）

【専任教員等の配置の変更】
①教育効果を高めるため受講学生数を見直し、クラス数を再編成したことに伴い、専任教員等の配置を次のとおり変更した。
「シティズンシップ（現代社会と市民）」（准教授1講師1兼担兼任5⇒教授1准教授0講師1兼担兼任4）、「シティズンシップ（社会参画の意義）」（准教授1講師1兼担兼任5⇒教授1准教授0講師1兼担兼任4）、「地域理解」（教授0准教授1講師1兼担兼任5⇒教授1准教授1講師0兼担兼任4）、「国際理解」（教授0准教授1講師1兼担兼任5⇒教授1准教授1講師0兼担兼任4）

②教育効果を高めるため、より専門性の高い教員を担当とすべく再調整したことに伴い、専任教員等の配置を次のとおり変更した。
「現代教養講義」（講師1兼担兼任0⇒教授1講師0兼担兼任0）、「自然災害と暮らし」（教授2講師0兼担兼任8⇒教授1准教授1講師0兼担兼任8）、「総合農学実習」（教授0講師1兼担兼任3⇒教授0准教授1講師0兼担兼任2）、「食生命科学実験１」（教授5准教授2講師2⇒教授6准教授2講師2）、「食生命科学実験２」（教授5准教授2講師2⇒教授6准教授1講師2）、「工場見学」（教授5准教授2講師2⇒教授6准教授1講師2）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			基幹教員等の配置					基幹教員以外の教員（助手を除く）
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	

【令和７年度】

【基幹教員等の配置の変更】
①教育効果を高めるため受講学生数を見直し、クラス数を再編成したことに伴い、基幹教員等の配置を次のとおり変更した。
「シティズンシップ（現代社会と市民）」（教授1准教授0講師1兼担兼任4⇒教授2准教授0講師0その他4）、「シティズンシップ（社会参画の意義）」（教授1准教授0講師1兼担兼任4⇒教授2准教授0講師0その他4）、「地域理解」（教授1准教授1講師0兼担兼任4⇒教授2准教授0講師0その他4）、「国際理解」（教授1准教授1講師0兼担兼任4⇒教授2准教授0講師0その他4）

②教員の特別研究期間、教育効果を高めるため、より専門性の高い教員を担当とすべく再調整したことに伴い、基幹教員等の配置を次のとおり変更した。
「入門ゼミナールＡ」（教授6准教授2講師2兼担兼任1⇒教授6准教授1講師2その他1）、「入門ゼミナールＢ」（教授6准教授2講師2⇒教授6准教授1講師2）、「現代教養講義」（教授1講師0兼担兼任0⇒教授0准教授1講師0その他0）、「農学概論Ａ」（教授4准教授1講師1兼担兼任9⇒教授4准教授0講師1その他9）、「農学概論Ｂ」（教授3准教授1講師1兼担兼任10⇒教授2准教授1講師1その他10）、「自然災害と暮らし」（教授1准教授1講師0兼担兼任8⇒教授2准教授0講師0その他8）、「総合農学実習」（教授0准教授1講師0兼担兼任2⇒教授0准教授1講師0その他4）、「物理学」（兼担兼任1⇒その他2）、「地学」（兼担兼任1⇒教授1その他1）、「農学基礎実習」（教授2准教授2講師1⇒教授2准教授1講師1）、「食品加工基礎実習」（教授2准教授1⇒教授1准教授1）、「食生命科学基礎実験１」（教授3准教授1講師1⇒教授4准教授0講師1）、「食品バイオテクノロジー」（准教授1講師0⇒准教授1講師1）、「食品機能科学」（准教授1講師0⇒准教授1講師1）、「食生命科学実験１」（教授6准教授2講師2⇒教授5准教授1講師2）、「食生命科学実験２」（教授6准教授1講師2⇒教授5准教授1講師2）、「工場見学」（教授6准教授1講師2⇒教授5准教授1講師2）、「食生命科学英語１」（教授5准教授2講師2⇒教授6准教授1講師2）、「食生命科学英語２」（教授5准教授2講師2⇒教授6准教授1講師2）、「卒業研究演習１」（教授5准教授2講師2⇒教授6准教授1講師2）、「卒業研究演習２」（教授5准教授2講師2⇒教授6准教授1講師2）、「卒業研究１」（教授5准教授2講師2⇒教授6准教授1講師2）、「卒業研究２」（教授5准教授2講師2⇒教授6准教授1講師2）、「地学実験」（兼担兼任1⇒教授1その他1）

(注)・ ２（１）-① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、
主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和４年10月１日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員　教授１」から「基幹教員　教授１」に変更）や、
兼任・兼担教員から基幹教員以外の教員に変更した場合　（例：「兼任教員１」から「基幹教員以外の教員１」に変更）については、
記入しないでください。
・ 不要な年度（令和６年度開設であれば令和５年度以前）の表は適宜削除してください。
・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ１つの枠内に記入してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
30 科目	40 科目	0 科目	70 科目	32 科目 [＋2]	40 科目 [－]	0 科目 [－]	72 科目 [＋2]	

(注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［ ］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６）「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{70} = \boxed{0}\ \%$$

(注)・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区　　分		内　　容				備考
（1）	区　　分	専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	
校	校 舎 敷 地	2,166,456.29 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,166,456.29 ㎡	
地	そ　の　他	15,809.24 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	15,809.24 ㎡	
等	合　　計	2,182,265.53 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,182,265.53 ㎡	
（2）校　　舎		専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	
		521,626.29 ㎡ （ 521,626.29 ㎡）	0 ㎡ （ 0 ㎡）	0 ㎡ （ 0 ㎡）	521,626.29 ㎡ （ 521,626.29 ㎡）	
（3）教室・教員研究室		教　　室	124 室	教員研究室	~~18~~ 20	専任教員新規就任のため（４）

（4）	新設学部等の名称	図　書 〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	機械・器具 点	標本 点	
図書・設備	農学部食生命科学科	42,010〔6,700〕 ~~(41,544〔6,579〕)~~ ~~(41,666〔6,610〕)~~ ~~(41,783〔6,624〕)~~ (42,010〔6,700〕)	709〔20〕 (709〔20〕)	3,895〔3,105〕 ~~(3,796〔3,014〕)~~ ~~(3,822〔3,033〕)~~ ~~(3,845〔3,052〕)~~ (3,895〔3,105〕)	2,920〔2,850〕 ~~(2,832〔2,763〕)~~ ~~(2,852〔2,780〕)~~ ~~(2,868〔2,791〕)~~ (2,920〔2,850〕)	0 （ 0 ）	0 （0）	下段に令和５年５月１日現在の数値を記載（５） 下段に令和６年５月１日現在の数値を記載（６） **下段に令和７年５月１日現在の数値を記載（７）**
	計	42,010〔6,700〕 ~~(41,544〔6,579〕)~~ ~~(41,666〔6,610〕)~~ ~~(41,783〔6,624〕)~~ (42,010〔6,700〕)	709〔20〕 (709〔20〕)	3,895〔3,105〕 ~~(3,796〔3,014〕)~~ ~~(3,822〔3,033〕)~~ ~~(3,845〔3,052〕)~~ (3,895〔3,105〕)	2,920〔2,850〕 ~~(2,832〔2,763〕)~~ ~~(2,852〔2,780〕)~~ ~~(2,868〔2,791〕)~~ (2,920〔2,850〕)	0 （ 0 ）	0 （0）	

（5）スポーツ施設等	スポーツ施設	講堂	厚生補導施設
	5,431.33 ㎡	1,549.17 ㎡	13,989.03 ㎡

（6）経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り 区　分	開設年度	完成年度	区　分	開設前年度	開設年度	完成年度
	教員１人当り研究費等	280千円	280千円	図書購入費	200千円	240千円	360千円
	共　同　研　究　費　等	700千円	700千円	設備購入費	9,797千円	235,058千円	9,797千円

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,545千円	1,345千円	1,345千円	1,345千円	― 千円	― 千円

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常経費補助金、手数料等

(注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）又は（その１の３）に準じて作成してください。
（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

- 「(４)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の５月１日現在の数値を記入してください。
- 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（６）」を「備考」に赤字で記入してください。
  なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- 校舎等建物の計画の変更（校舎の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- 高等専門学校については「（３）教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
- 国立大学については「（６）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４　既設大学等の状況

大学の名称	東　海　大　学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
文学部		370	－	1480		1.12	1.08	－	昭和25	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
文明学科	4	60	－	240	学士(文学)	1.10	1.06	－	平成13	同上	
歴史学科		130	－	520		1.17	1.14	－	昭和35	同上	
日本史専攻	4	50	－	200	学士(文学)	1.18	1.15	－	昭和58	同上	
西洋史専攻	4	50	－	200	学士(文学)	1.19	1.17	－	昭和58	同上	
考古学専攻	4	30	－	120	学士(文学)	1.11	1.07	－	昭和58	同上	
日本文学科	4	90	－	360	学士(文学)	1.13	1.09	－	平成13	同上	
英語文化コミュニケーション学科	4	90	－	360	学士(文学)	1.04	1.01	－	昭和35	同上	
文化社会学部		450	－	1800		1.09	1.07	－	平成30	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
アジア学科	4	70	－	280	学士(文化社会学)	1.02	1.01	－	平成30	同上	
ヨーロッパ・アメリカ学科	4	70	－	280	学士(文化社会学)	1.03	1.02	－	平成30	同上	
北欧学科	4	60	－	240	学士(文化社会学)	1.09	1.05	－	平成30	同上	
文芸創作学科	4	60	－	240	学士(文化社会学)	1.14	1.09	－	平成30	同上	
広報メディア学科	4	100	－	400	学士(文化社会学)	1.12	1.10	－	平成30	同上	
心理・社会学科	4	90	－	360	学士(文化社会学)	1.13	1.11	－	平成30	同上	
教養学部		190	－	760		1.04	1.02	－	昭和43	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
人間環境学科	4	120	－	480	学士(教養学)	1.04	1.02	－	昭和43	同上	
芸術学科	4	70	－	280	学士(教養学)	1.04	1.01	－	昭和43	同上	
国際学科	4	－	－	－	学士(教養学)	－	－	－	昭和47	同上	令和４年度より学生募集停止
児童教育学部		150	－	600		1.01	－	－	令和４	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
児童教育学科	4	150	－	600	学士(児童教育学)	1.01	－	－	令和４	同上	
体育学部		540	－	2160		1.04	1.02	－	昭和42	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
体育学科	4	120	－	480	学士(体育学)	1.07	1.05	－	昭和42	同上	
競技スポーツ学科	4	170	－	680	学士(体育学)	1.03	1.01	－	平成16	同上	
武道学科	4	60	－	240	学士(体育学)	1.00	－	－	昭和43	同上	
生涯ｽﾎﾟｰﾂ学科	4	120	－	480	学士(体育学)	1.03	1.01	－	昭和46	同上	
スポーツ・レジャーマネジメント学科	4	70	－	280	学士(体育学)	1.09	1.06	－	平成16	同上	
健康学部		200	－	800		1.01	－	－	平成30	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
健康マネジメント学科	4	200	－	800	学士（健康ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学）	1.01	－	－	平成30	同上	
法学部		300	－	1200		1.10	1.07	－	昭和61	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
法律学科	4	300	－	1200	学士(法学)	1.10	1.07	－	昭和61	同上	
政治経済学部		400	－	1600		1.10	1.08	－	昭和41	神奈川県平塚市北金目4-1-1 東京都港区高輪2-3-23	
政治学科	4	200	－	800	学士(政治学)	1.09	1.08	－	昭和41	同上	
経済学科	4	200	－	800	学士(経済学)	1.10	1.08	－	昭和41	同上	
経営学科	4	－	－	－	学士(経営学)	－	－	－	昭和49	神奈川県平塚市北金目4-1-1	令和４年度より学生募集停止
経営学部		230	－	920		1.08	－	－	令和４	神奈川県平塚市北金目4-1-1 東京都港区高輪2-3-23	
経営学科	4	230	－	920	学士(経営学)	1.08	－	－	令和４	同上	

国際学部		200	―	800		1.06	―	―	令和４	神奈川県平塚市北金目4-1-1 東京都港区高輪2-3-23	
国際学科	4	200	―	800	学士(国際学)	1.06	―	―	令和４	同上	
観光学部		200	―	800		1.13	1.11	―	平成22	神奈川県平塚市北金目4-1-1 東京都港区高輪2-3-23	
観光学科	4	200	―	800	学士(観光学)	1.13	1.11	―	平成22	同上	
情報通信学部		240	―	960		1.09	―	―	平成20	神奈川県平塚市北金目4-1-1 東京都港区高輪2-3-23	
情報メディア学科	4	―	―	―	学士(工学)	―	―	―	平成20	東京都港区高輪2-3-23	令和４年度より学生募集停止
組込みソフトウェア工学科	4	―	―	―	学士(工学)	―	―	―	平成20	同上	令和４年度より学生募集停止
経営システム工学科	4	―	―	―	学士(工学)	―	―	―	平成20	同上	令和４年度より学生募集停止
通信ネットワーク工学科	4	―	―	―	学士(工学)	―	―	―	平成20	同上	令和４年度より学生募集停止
情報通信学科	4	240	―	960	学士(情報通信学)	1.09	―	―	令和４	神奈川県平塚市北金目4-1-1 東京都港区高輪2-3-23	
理学部		320	―	1280		1.06	1.03	―	昭和39	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
数学科	4	80	―	320	学士(理学)	1.10	1.06	―	昭和39	同上	
情報数理学科	4	80	―	320	学士(理学)	1.08	1.06	―	昭和49	同上	
物理学科	4	80	―	320	学士(理学)	0.99	―	―	昭和39	同上	
化学科	4	80	―	320	学士(理学)	1.05	1.02	―	昭和39	同上	
情報理工学部		300	―	1200		1.11	1.09	―	平成13	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
情報科学科	4	100	―	400	学士(工学)	1.16	1.12	―	平成13	同上	
コンピュータ応用工学科	4	100	―	400	学士(工学)	1.10	1.06	―	平成13	同上	
情報メディア学科	4	100	―	400	学士(工学)	1.08	―	―	令和４	同上	
建築都市学部		340	―	1360		1.03	―	―	令和４	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
建築学科	4	240	―	960	学士(工学)	1.08	―	―	令和４	同上	
土木工学科	4	100	―	400	学士(工学)	0.90	―	―	令和４	同上	
工学部		820	―	3280		1.05	1.03	―	昭和25	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
生命化学科	4	―	―	―	学士(工学)	―	―	―	平成13	同上	令和４年度より学生募集停止
光・画像工学科	4	―	―	―	学士(工学)	―	―	―	平成18	同上	令和４年度より学生募集停止
原子力工学科	4	―	―	―	学士(工学)	―	―	―	平成18	同上	令和４年度より学生募集停止
材料科学科	4	―	―	―	学士(工学)	―	―	―	昭和41	同上	令和４年度より学生募集停止
建築学科	4	―	―	―	学士(工学)	―	―	―	昭和41	同上	令和４年度より学生募集停止
土木工学科	4	―	―	―	学士(工学)	―	―	―	昭和41	同上	令和４年度より学生募集停止
精密工学科	4	―	―	―	学士(工学)	―	―	―	昭和46	同上	令和４年度より学生募集停止
動力機械工学科	4	―	―	―	学士(工学)	―	―	―	昭和46	同上	令和４年度より学生募集停止
医用生体工学科	4	―	―	―	学士(工学)	―	―	―	平成22	神奈川県平塚市北金目4-1-1 神奈川県伊勢原市下糟屋143	令和４年度より学生募集停止
航空宇宙学科		140	―	560		0.96	―	―	昭和42	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
航空宇宙学専攻	4	90	―	360	学士(工学)	1.00	―	―	昭和42	同上	
航空操縦学専攻	4	50	―	200	学士(工学)	0.89	―	―	昭和42	同上	
機械工学科	4	140	―	560	学士(工学)	1.15	1.10	―	昭和46	同上	
機械システム工学科	4	140	―	560	学士(工学)	1.01	―	―	令和４	同上	
電気電子工学科	4	120	―	480	学士(工学)	1.17	1.13	―	平成18	同上	
医工学科	4	80	―	320	学士(工学)	0.92	―	―	令和４	神奈川県平塚市北金目4-1-1 神奈川県伊勢原市下糟屋143	
生物工学科	4	100	―	400	学士(工学)	1.05	―	―	令和４	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
応用化学科	4	100	―	400	学士(工学)	1.05	1.02	―	平成13	同上	
医学部		213	―	1088		1.04	―	―	昭和49	神奈川県伊勢原市下糟屋143	
医学科	6	118	―	708	学士(医学)	1.04	―	―	昭和49	同上	定員変更延長（8）
看護学科	4	95	―	380	学士(看護学)	1.05	―	―	平成30	同上	

海洋学部		350	―	1400		0.97	0.96	―	昭和37	静岡県静岡市清水区折戸3-20-1	
海洋文明学科	4	―	―	―	学士(海洋学)	―	―	―	平成16	同上	令和４年度より学生募集停止
環境社会学科	4	―	―	―	学士(海洋学)	―	―	―	平成23	同上	令和４年度より学生募集停止
海洋地球科学科	4	―	―	―	学士(海洋学)	―	―	―	平成23	同上	令和４年度より学生募集停止
航海工学科		―	―	―		―	―	―	平成23	同上	令和４年度より学生募集停止
航海学専攻	4	―	―	―	学士(海洋学)	―	―	―	平成23	同上	令和４年度より学生募集停止
海洋機械工学専攻	4	―	―	―	学士(海洋学)	―	―	―	平成23	同上	令和４年度より学生募集停止
海洋理工学科	4	150	―	600	学士(海洋学)	**0.69**	―	―	令和４	同上	
海洋理工学専攻	4	130	―	520	学士(海洋学)	0.62	―	―	令和４	同上	
航海学専攻	4	20	―	80	学士(海洋学)	1.11	―	―	令和４	同上	
水産学科	4	120	―	480	学士(海洋学)	1.16	1.12	―	平成18	同上	
海洋生物学科	4	80	―	320	学士(海洋学)	1.22	**1.21**	―	平成18	同上	
人文学部		180	―	720		0.85	―	―	令和４	静岡県静岡市清水区折戸3-20-1	
人文学科	4	180	―	720	学士(人文学)	0.85	―	―	令和４	同上	
経営学部		―	―	―		―	―	―	平成25	熊本県熊本市東区渡鹿9-1-1	令和４年度より学生募集停止
経営学科	4	―	―	―	学士(経営学)	―	―	―	平成25	同上	令和４年度より学生募集停止
観光ビジネス学科	4	―	―	―	学士(経営学)	―	―	―	平成25	同上	令和４年度より学生募集停止
基盤工学部		―	―	―		―	―	―	平成25	熊本県熊本市東区渡鹿9-1-1	令和４年度より学生募集停止
電気電子情報工学科	4	―	―	―	学士(工学)	―	―	―	平成25	同上	令和４年度より学生募集停止
医療福祉工学科	4	―	―	―	学士(工学)	―	―	―	平成25	同上	令和４年度より学生募集停止
文理融合学部		300	―	1200		0.93	―	―	令和４	熊本県熊本市東区渡鹿9-1-1	
経営学科	4	130	―	520	学士(経営学)	0.99	―	―	令和４	同上	
地域社会学科	4	100	―	400	学士(社会学)	0.78	―	―	令和４	同上	
人間情報工学科	4	70	―	280	学士(工学)	1.03	―	―	令和４	同上	
農学部		230	―	920		0.84	―	―	平成20	熊本県熊本市東区渡鹿9-1-1 熊本県上益城郡益城町杉堂871-12	
応用植物科学科	4	―	―	―	学士(農学)	―	―	―	平成20	同上	令和４年度より学生募集停止
応用動物科学科	4	―	―	―	学士(農学)	―	―	―	平成20	同上	令和４年度より学生募集停止
バイオサイエンス学科	4	―	―	―	学士(農学)	―	―	―	平成20	同上	令和４年度より学生募集停止
農学科	4	80	―	320	学士(農学)	0.92	―	―	令和４	同上	
動物科学科	4	80	―	320	学士(農学)	0.85	―	―	令和４	同上	
食生命科学科	4	70	―	280	学士(農学)	0.72	―	―	令和４	同上	
国際文化学部		190	―	760		0.98	―	―	平成20	北海道札幌市南区南沢5条1-1-1	
地域創造学科	4	110	―	440	学士(教養学)	1.02	―	―	平成20	同上	
国際コミュニケーション学科	4	80	―	320	学士(教養学)	0.93	―	―	平成20	同上	
デザイン文化学科	4	―	―	―	学士(教養学)	―	―	―	平成24	同上	令和４年度より学生募集停止
生物学部		150	―	600		1.04	1.03	―	平成24	北海道札幌市南区南沢5条1-1-1	
生物学科	4	75	―	300	学士(理学)	1.03	―	―	平成24	同上	
海洋生物科学科	4	75	―	300	学士(理学)	1.05	1.04	―	平成24	同上	
大学全体		6863	―	27688		1.04	1.03	―	―	―	

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の
報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、
「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。
・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「収容定員充足率」には、報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和８年度開設用）Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」
第１条第２項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第２項及び第４項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の**学科**については、**必ず太字にしてください**。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
届　出　時 （令和３年）	・二以上の校地において教育を行うことから、学生及び教員の教育研究等に支障のないよう留意すること。また、学生の課外活動等にも配慮すること。（情報通信学部情報通信学科、工学部医工学科、農学部農学科、農学部動物科学科、農学部食生命科学科）	【届出】 遵守事項	別紙①のとおり。	履行済	授業時間割の調整、使用する教室・研究室等の環境整備、学生の課外活動実施の方法について、情報通信学部情報通信学科、工学部医工学科は令和５年度末までに、農学部農学科、農学部動物科学科、農学部食生命科学科は令和４年度末までに完了する。（４） 農学部農学科、動物科学科、食生命科学科については、阿蘇くまもと臨空キャンパスの施設設備の充実を図り、農学部の教育研究及び学生の課外活動実施のための環境整備を進めていく。 情報通信学部情報通信学科、工学部医工学科については、二校地における授業時間割の調整、使用する教室・研究室等の環境整備、学生の課外活動実施の方法検討について、令和５年度末までに完了する。（５） 阿蘇くまもと臨空キャンパス、品川キャンパスの施設設備の充実を図り、二校地で教育を行う学部学科の教育研究及び学生の課外活動実施のための環境整備を進めていく。（６）
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和４年度）	・教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（農学部食生命科学科）	【ＡＣ】 指摘事項 （改善）	令和５年３月に農学部の拠点となる阿蘇くまもと臨空キャンパスが完成し、農場、畜舎、食品加工教育棟等を使用して専門教育を実施できる環境が整った。この新校舎での教育について入試広報を展開した結果、令和５年度における入学定員超過率の平均は0.72倍に改善した。（５）	履行済	引き続き教育内容の充実を図り、入学定員の確保に努めていく。（５）
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和５年度）	・入学者選抜の適切な実施等を通じ，収容定員超過の改善に努めること。（建築都市学部建築学科）	【ＡＣ】 指摘事項 （改善）	建築都市学部建築学科は、開設時の令和４年度入試において入学者数309名となり、入学定員（240名）を大幅に超過したが、令和５年度入試は入学者数255名、令和６年度入試は入学者数250名となり、令和６年度における収容定員超過率の平均は1.11倍に改善した。（６）	履行済	引き続き入学者選抜を適切に実施し、収容定員超過の改善に努めていく。（６）

設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和６年度）	○教育内容の充実等を通じ、収容定員未充足の改善に努めること。（海洋学部海洋理工学科）	【ＡＣ】 指摘事項 （改善）	海洋学部海洋理工学科（入学定員150名）は、海洋理工学専攻（入学定員130名）と航海学専攻（入学定員20名）の２専攻で構成され、航海学専攻は十分に定員を充足しているものの、海洋理工学専攻が未充足のため、学科として収容定員充足率が0.7倍未満となっている。このことから、海洋理工学専攻（以下、本専攻という。）の収容定員未充足改善の履行状況について、次のとおり説明する。 本専攻は、定員未充足の状況を踏まえ、令和７年度入試に向けて高校生への働きかけが可能な推薦・総合型選抜入試において志願者を増やすことを目標とし、本専攻のPRにおいて、何が学べるのかを明確に、丁寧に説明することに努め、本学付属高校生への働きかけ、指定校の見直し・追加等、志願者増加につながるような取り組みを行った。その結果、令和７年度入試の推薦・総合型選抜入試志願者は、令和６年度入試から２倍近く増加し、入学者数は89人、入学定員超過率0.68倍となった（令和６年度入試：入学者数74人、入学定員超過率0.56倍）。令和７年度における収容定員充足率は0.62倍である。（７）	履行中	令和７年度入試において取り組みの効果が出ていることから、令和８年度入試に向けて引き続き取り組みを推進するとともに、完成年度を迎え、一期生の卒業後の進路状況が明らかになることから、本専攻のPRにおいて、本専攻の学びの成果を高校生に対して分かりやすく説明して定員未充足の改善に努める。（７）
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和６年度）	○教育内容の充実等を通じ、収容定員未充足の改善に努めること。（農学部食生命科学科）	【ＡＣ】 指摘事項 （改善）	農学部食生命科学科は、定員未充足の状況を踏まえ、令和７年度入試に向けて、農場、畜舎、食品加工教育棟等が整備された農学部の新キャンパスで行う食生命科学科の教育の特色のPRに力を入れた入試広報を展開した。その結果、令和７年度入試における志願者は284名、入学者数59名となり、令和６年度入試（志願者241名、入学者数50名）より増加し、令和７年度における収容定員充足率は0.72倍に改善した。（７）	履行済	引き続き入試広報の充実等の取り組みを推進し、定員の確保に努めていく。（７）
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和６年度）	○東海大学の既設学科等（情報理工学部情報科学科）の収容定員超過の改善に努めること。	【ＡＣ】 指摘事項 （改善）	情報理工学部情報科学科は、令和４年度入試の入学者数が132名、令和５年度入試の入学者数が105名、令和６年度入試の入学者数が138名となり、入学定員（100名）を大幅に超過している。この状況を踏まえ、令和７年度入試において、前年度より厳格に入試選抜を行った結果、入学者数は90名となり、令和７年度における収容定員超過率は1.11倍に改善した。（７）	履行済	引き続き入学者選抜を適切に実施し、収容定員超過の改善に努めていく。（７）

設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和６年度）	○東海大学の既設学科等（海洋学部海洋生物学科）の収容定員超過の改善に努めること。	【ＡＣ】 指摘事項 （改善）	海洋学部海洋生物学科は、令和４年度入試の入学者数が100名、令和５年度入試の入学者数が110名、令和６年度入試の入学者数が111名となり、入学定員（80名）を大幅に超過している。この状況を踏まえ、令和７年度入試において、前年度より厳格に入試選抜を行ったが、学力系入試における入学手続率が予想より高く、入学者数は95名となり、令和７年度における収容定員超過率は1.21倍である。 （７）	履行中	令和８年度入試において、さらに厳格な入学者選抜を行うことにより、定員超過の改善に努める。 （７）

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。） と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

【令和６年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和６年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。

【令和６年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和６年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）（７）」と記載してください。

【令和７年度から新たに調査対象となった学科等又は令和６年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。

・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。
その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

７　その他全般的事項

＜農学部　食生命科学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

（注）・ １～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

「東海大学ＦＤ・ＳＤ活動推進に関する内規」に基づいて委員を選出し、農学部のＦＤ・ＳＤに関する委員会を設置している。□

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

2024年度は計５回の委員会を開催した。なお、委員会を構成する教員は、毎回全員（３名）が出席した。□

ｃ　委員会の審議事項等

前年度ＦＤ・ＳＤ活動の省察、農学部ＦＤ・ＳＤ研修会の内容および役割分担についての確認、2024年度ＦＤ・ＳＤ活動計画・実施、活動のまとめ。

②　実施状況

ａ　実施内容

「教育と研究の質向上のための教員および職員の資質開発」を目標（テーマ）とし、在学生に対する教育の質の向上や、研究レベルの向上により、農学部の教育研究活動を活発化することに加えて、入試広報活動にもつなげるためのＦＤ・ＳＤ活動を行うことを目標として、複数の研修会を実施した。

ｂ　実施方法

2024年度、４回のＦＤ・ＳＤ研修会を企画し、①の委員会において企画内容を審議・決定して実施した。

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）

第１回農学部ＦＤ・ＳＤ研修会
テーマ：「第53回海外研修航海に参加して」
日　時：2024年7月16日（火）17:10～17:40
場　所：阿蘇くまもと臨空キャンパス　１号館１階第一会議室
人　数：29名（うち農学部所属教員：27名、他所属教員：2名）
概　要：
2023年度に海外研修航海に団役員として参加した農学部動物科学科の稲永准教授が、団役員業務の概要について説明した。成果として、これまで研修航海に参加したことのない教員がほとんどのため、事後のアンケートで「参考になった」という意見が91%であった。

第２回農学部ＦＤ・ＳＤ研修会
テーマ：「論文執筆のために」
日　時：2024年9月20日（金）16:00～17:00
場　所：阿蘇くまもと臨空キャンパス　２号館Ｃ棟１階　2C105教室
人　数：26名（うち農学部所属教員：15名、他所属教員：7名、大学院生：4名）
概　要：
総合農学研究所の荒木教授より、研究論文を執筆するための心構えについて説明があった。
当日は総合農学研究所所属の特定教員はもちろん、大学院生や学部生も参加し、活発な質疑が行われた。事後のアンケートでは、これに類するテーマでの、さらなる研修会の要望も多数寄せられたため、今後の企画の際の参考としたい。

第３回農学部ＦＤ・ＳＤ研修会
テーマ：「落語に学ぶ対話のヒント」
日　時：2024年9月20日（金）17:10～18:40
場　所：阿蘇くまもと臨空キャンパス　２号館２階　2A203教室
人　数：15名（うち農学部所属教員：8名、他所属教職員：4名、大学院生：3名）
概　要：
落語家（古今亭圓菊師匠）による落語講座が行われた。近年毎年開催されている内容ではあるが、今年度は新たな試みとして参加者を募り、落語講座が行われ、聞き手やその場の状況に合わせた効果的な話の導入、間の取り方、話への引き込み方について学び、教職員のコミュニケーション能力および対話力向上のきっかけ作りとなった。

第４回農学部ＦＤ・ＳＤ研修会
テーマ：「大学の受験生を獲得するためのSNSセミナー報告」
日　時：2024年10月15日（火）17:10-17:40
場　所：阿蘇くまもと臨空キャンパス　１号館１階　第一会議室
人　数：23名（うち農学部所属教員：22名、他所属教職員：1名）
概　要：
リクルート系列会社が主催する「大学の受験生獲得のためのSNSセミナー」の内容についての説明が行われた。
入学者数減少の問題を抱えている農学部にとって、受験生の獲得は切迫した課題であり、とくに現在の受験生が情報源とするSNSについて概要の説明が行われた。報告後の質疑では、「ワークスタディの学生など、学生を巻き込んでの情報発信がいいのでは？」などの意見が出された。その後、実際に若手教員が中心となり、インスタグラムでの情報発信の体制が構築されている。

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

学生からの授業評価アンケート調査のフィードバックの総合評価の結果から鑑みると、授業での学生の理解や学生に興味を持たせるための授業展開、その技術（話し方）などについて高評価が出ていることから、各教員がＦＤ・ＳＤの研修会で得られた内容を、各自の授業に反映させることでその向上や改善につながり、ＦＤ・ＳＤの取り組みが活かされている状況が伺える。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

各学期末の年２回、実施している。

ｂ　教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートの集計結果について、教員に対しては、学内ウェブサイトで公開している。
学生に対しては、学生個人が大学からの連絡を受け取るウェブサイトで公開している。

(注)・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

「①ａ　委員会の設置状況」関係規程等の転載

〇東海大学ＦＤ・ＳＤ活動推進に関する内規
（制定　2022年４月１日）
改訂　2023年４月１日　　2024年４月１日
（目的）
第１条　この内規は，学部・教育組織のセンター等（以下「学部等」という。），大学院各研究科及び事務組織の連携を図り，本学のＦＤ・ＳＤ活動推進に必要な事項について定める。
（設置）
第２条　前条の目的を達成するため，本学にＦＤ・ＳＤ活動推進委員会（以下「本委員会」という。）を置く。
（検討事項）
第３条　本委員会の主な検討事項は，次のとおりとする。
（１）　ＦＤ・ＳＤ活動実施計画に関する事項
（２）　ＦＤ・ＳＤ活動実施方法に関する事項
（３）　その他ＦＤ・ＳＤに関する事項
（構成）
第４条　本委員会の構成は，次のとおりとする。
（１）　委員長　教育支援担当の学長室部長
（２）　委　員
ア　各研究科の常任ＦＤ・ＳＤ委員
イ　各学部等の常任ＦＤ・ＳＤ委員
ウ　教育開発研究センター所長
エ　学長室，スポーツプロモーションセンター，キャンパスライフセンター，総合教育センター及び各カレッジオフィスの課長が推薦する職員
オ　委員長が必要と認める教職員
（会議）
第５条　本委員会は，委員長が必要と認めたとき，これを招集し，その議長となる。
（各研究科，各学部等の委員会）
第６条　各研究科，各学部等にＦＤ・ＳＤ委員会を置く。
２　第４条第２号ア，イの常任ＦＤ・ＳＤ委員は，各研究科，各学部等のＦＤ・ＳＤ委員会委員長とする。
（承認）
第７条　本委員会が検討し決定した事項は，学部長会議又は大学院運営委員会等で審議又は報告しなければならない。
（事務）
第８条　本委員会の事務は，学長室（教育支援担当）が行う。
付　則（2022年４月１日）
１　この内規は，2022年４月１日から施行する。
２　この内規の制定により，東海大学Policy・Working・Meeting学部常任ＦＤ委員会規程及び東海大学Policy・Working・Meeting大学院常任ＦＤ委員会規程（2011年４月１日制定）は，廃止する。
付　則（2024年４月１日）
この内規は，2024年４月１日から施行する。

（３） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（４） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学科は完成年度が終了する前であり、設置の趣旨・目的の達成状況を総括して点検評価する時期には来ていないが、これまで問題無く授業を開講しており、現時点において計画時の趣旨・目的に沿って教育研究活動が行われていると評価できる。

② 自己点検・評価報告書

ａ 公表（予定）時期

本学は、『東海大学教育研究年報』に自己点検・評価報告を記載しており、例年３月頃に公表している。

ｂ 公表方法

『東海大学教育研究年報』は、東海大学ホームページにおいて公表している。

③ 認証評価を受ける計画

本学は、令和６年度に大学基準協会の認証評価を受審し、適合の判定を得ている。次回の受審時期は検討中である。

(注)・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（５） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和７年度）

ａ 公表予定の有無 〔 （有） ・ 無 〕

≪ａで「有」の場合≫

ｂ 公表（予定）時期 〔 （調査結果公表後１ヶ月以内） ・ 公表後２～３ヶ月以内 ・ 公表後３ヶ月以降 〕

ｃ 公表方法 〔 （ウェブサイトへの掲載） ・ その他（ ） 〕

≪ａで公表「無」の場合≫

ｄ 公表しない理由 〔 〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。